

市長	比田勝尚喜君
副市長	俵 輝孝君
教育長	中島 清志君
総務部長	木寺 裕也君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	一宮 努君
しまづくり推進部長	伊賀 敏治君
観光交流商工部長	村井 英哉君
市民生活部長	舍利倉政司君
福祉保険部長	國分 幸和君
健康づくり推進部長	桐谷 和孝君
農林水産部長	黒岩 慶有君
建設部長	内山 歩君
水道局長	立花 大功君
教育部長	八島 誠治君
中対馬振興部長	松井 恵夫君
上対馬振興部長	阿比留 裕君
美津島行政サービスセンター所長	藤田 浩徳君
峰行政サービスセンター所長	居村 雅昭君
上県行政サービスセンター所長	原田 勝彦君
消防長	主藤 庄司君
会計管理者	二宮 照幸君
監査委員事務局長	志賀 慶二君
農業委員会事務局長	主藤 公康君

午前10時00分開議

○議長（初村 久藏君） おはようございます。

ただいまから議事日程第3号により、本日の会議を開きます。

日程第1. 市政一般質問

○議長（初村 久藏君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は4人を予定しております。それでは、届出順に発言を許します。10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） 皆さん、おはようございます。新政会の春田新一です。

質問に入る前に、まず、本市にとっては人口減少対策が喫緊の課題であると思います。また、国境離島新法をフルに活用し、企業を増やし雇用の確保をしながら人口減少対策に取り組んでいかなければなりません。定住促進や観光振興、地域活性化策など地域に優しい、人に優しいまちづくりを限られた予算の中で最小限の経費で最大限の効果を勘案し、施策や事業の実施に今後も期待をいたします。

それでは、通告をしています市政一般質問に入ります。

今回は、2項目6点について、市長にお尋ねをいたします。

まず1項目めです。市道仁田志多留線道路改良事業について。この質問は、再々質問になりまして、今回で3度目の質問になると思います。よろしく願いいたします。

本路線は、上県町檜滝地内を起点とし、志多留地区に至る延長約6.7キロメートルの道路で、上県地区の西側沿岸の6地区を連絡する唯一の幹線道路であり、また、市道中山線と連携して佐護地区に至る国道382号を補完する主要路線でもあります。

平成17年度に市道改良事業として着手し、平成26年度に再評価を受けて志多留工区1.33キロメートル、越高工区0.21キロメートル、御園工区0.7キロメートルを合わせた延長2.33キロメートルの整備計画として、補助事業の認可を受けて現在、進めているというふうに思います。

志多留工区が平成29年7月に完成、越高工区に着手する、また、平成30年9月下旬より路線測量、用地測量を含めた概略設計を実施、年内に越高地区での説明会を計画している。路線の線形については地区内の同意をいただき、平成30年度には詳細設計へと進み、平成31年度より着工の予定、また、御園工区につきましては、越高工区完成後に着手予定であるという答弁をなされております。

その1点目です。越高工区の進捗状況についてお伺いをいたします。また、整備計画には入っていないと思いますが、越高橋架け替えの考えはないか、市長にお尋ねをいたします。

次に2点目です。御園工区の改良事業計画について伺います。越高工区完成後に着手する予定であると答弁をされていますが、路線の調査、線形等、今後の進め方についてお伺いをいたします。

次に3点目、犬ヶ浦トンネルについて伺います。このトンネルは完成が1975年、供用年数は47年になるというふうに思います。延長192メートル、総幅員5.4メートル、高さ4.0メートル、対馬市が管理している20本のトンネルの中、供用されている中では一番古いトンネルであるというふうに思います。長寿命化点検は実施されていますが、点検の結果と安全で安心な通行可能な整備と今後の老朽化対策も含めてお尋ねをいたします。

次に4点目です。御園大橋についても伺います。この橋は架設年度1988年、昭和63年完成で橋の長さが65.6メートル、幅員が6.2メートル、集落の上部を通る橋で御園集落を一望できる橋であります。供用開始から34年になります。橋梁長寿命化点検は実施されていると思いますが、点検の結果と今後の整備計画について伺いをいたします。

次に2項目めです。自然災害防止対策について。

このことにつきましては、島内どの町においても、地域においても非常に多く工事がなされているところも見受けられます。しかし、まだまだ猪、鹿の被害でかなりのところの整備も必要ではないかなというふうに思います。

その1点目です。有害鳥獣による下層植物や作物の被害、また温暖化の影響による降水量の増大でどの地域も民家の裏山から土砂が流出をしている。御園トンネル左右ののり面も土砂流出があり危険な状態である。のり面対策の考えはないか伺いをいたします。

次に、その2点目です。御園大橋付近の道路災害防除について。この件につきましては、道路下部に住宅が建ち並んでおり、3年前ぐらいに土砂落下の対策が施工されていますが、雨の後には転石がのり面にむき出しな状態であり落下の危険もある。のり面対策はできないか伺いをいたします。

以上、6点の答弁をお願いいたします。また、今回に限りましては、私、自分の生まれ育ったところの部分だけを質問をいたします。どうか市長、私の思いを受け止めていただいて答弁をよろしくをお願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） おはようございます。春田議員の質問にお答えいたします。春田議員の生まれ育った地域ということで、私のほうもできる限りの前向きな答弁をさせていただきたいというふうに思います。

市道仁田志多留線道路改良事業につきましては、平成17年度に着手し、平成29年に伊奈、志多留工区1,330メートルが完成しており、未着手の整備計画区間につきましても、現在、地域住民の生活の利便性向上を図るため、早期完成を目指し道路整備を進めているところでございます。

また、併せまして、当該市道の路線内の橋梁、トンネル施設につきましては、道路メンテナンス事業において5年に一度の定期点検を実施し、その点検により確認された変状、異常の程度から健全性の判定を1から4の段階に分類を行い、そのうち3または4の判定につきましては、施設本体が不良な状態であり、早期に措置を講ずる必要があることから、本市が定めます長寿命化修繕計画に基づき、補助事業を活用し順次整備を進めているところでございます。

1点目の越高工区につきましては、令和2年度より工事に着手しております。現在、波返し擁

壁90メートルが施工済みでありまして、令和6年度までに残り70メートルの波返し擁壁、かさ上げコンクリート、道路背後の整備を完了する予定で進んでおります。

次に、越高橋、架け替えについてでございますが、令和2年度に橋梁点検を実施いたしまして、橋台に部分的に浮きが見られることや、防護柵に一部鉄筋が露出しておりますが、前回の点検より進行は認められないため、健全度2の判定であることから、現時点では、補修、架け替えは考えておりませんが、次の点検で見直しされた場合は、補修、架け替えを検討してまいりたいと考えております。

2点目の御園工区の改良事業計画についてでございますが、令和5年度に県との協議を進め、令和6年度から測量、調査、設計に着手する計画であります。

線形については、犬ヶ浦トンネルから御園地区までは、現道を拡幅する形で、道路幅員5メートルでの計画を考えております。

3点目の犬ヶ浦トンネルについてでございますが、トンネル点検を平成30年度に実施いたしました。点検結果は、トンネル全体的に、ひび割れと遊離石灰が確認され、今後、進行性の確率が高いと考えられることや覆工裏側の空洞化が推定され、健全度3で早期に対策を講じる必要があるとの判断から、令和元年、詳細設計に着手し、翌年度、令和2年度と令和3年度から覆工背面の空洞の充填（グラウト注入）、剥落防止工、漏水対策工を実施したことによりまして、トンネル本体の長寿命化を図り、利用者に対し安心・安全な通行を確保したところでございます。

今後の老朽化対策におきましては、令和5年度に点検を行い、施設本体に不良な状態が確認された場合は、令和7年度からの次期長寿命化計画において、早い段階で実施できるよう進めてまいりたいと考えております。

4点目の御園大橋についてでございますが、橋梁点検を平成28年度に実施し、健全度2で補修の必要はありませんでしたが、令和3年度の橋梁点検を行った結果、鋼部材に部分的な断面欠損を伴う腐食、床版、橋台にひび割れが見られるなど、前回の点検より進行が見られることから健全度が3となり対策を講ずるべきであるとの結果から、令和7年度からの次期計画において、実施できるよう進めてまいりたいと考えております。

続きまして、2項目めの自然災害防止対策についてでございますが、近年、異常気象に伴う豪雨で土砂災害が全国的に数多く発生し、大きな被害をもたらしています。市内でも急傾斜が多いことから、降雨時には斜面崩壊や落石による家屋への被害が発生しております。

そのため、集落の近辺では崖崩れの予防対策事業として、急傾斜地崩壊対策事業や治山事業などを施行し、地域の安全対策に取り組んでいるところでございます。

議員御質問の御園トンネルの左、右のり面対策及び御園大橋付近のり面対策についてでございますが、この路線は産業活動に重要な役割を担うとともに国道382号を補完する重要な幹

線道路でありますので、のり面対策について県と協議しながら事業化に向けて検討をしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） 私の生まれ育ったところで市長の答弁も熱が入っていましたが、また今から一問一答でさらに熱を加えていただきたいというふうに思います。よろしく願いします。

写真を送信してもらっていいですか。タブレットの中に写真を10枚ほど入れていますので、それについて質問をしていきたいと思えます。

まず、1番目の越高工区の完成、このことについてはやはり少し時間がかかりました。非常に地元の方との協議がなかなか進まない中で、北部建設事務所の所長さんは骨を折って夜も集落に向かって説明に行かれたということも聞いております。大変、苦勞されてここまで来ておりますが、写真に載っていますようにまだまだ令和2年度から着手しております。

この事業は起債事業でありますので、年間に2,000万円の起債で事業がされているというふうに思っております。あと2年かなというふうな感じでこの写真を見ても分かるんですが、そのぐらいのところまで完成をしていくのではないかなというふうに思いますが、これも地区の中からのいろんな要望とかを聞きながら波返し、そしてまた道路の幅員を広めるための買収も少しは入ってきたのかなというふうには思っておりますが、この起債の2,000万円であと何年かかるのか、市長にまずお尋ねをいたします。部長でも結構です。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、内山歩君。

○建設部長（内山 歩君） 越高工区の改良はあと何年かということですが、一応、現段階の計画におきましては、令和6年までに完成ということで計画を進めております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） どうもありがとうございます。令和6年ということはあと2年とちょっとですね、2年とちょっとで越高工区が完成するというところでございます。

それから、答弁にもございましたように越高工区完成後に御園工区に着手するんだということですので、やはり2年前に工区の完成を継続してやっていかれるならば御園工区の今後の線形、あるいは詳細について地区との協議等もいろいろ入ってくるのではないかなというふうに思いますが、やはり地区との協議がなかなか進まない状況で道路が着手できないのが今の対馬島内の現状ではないかなというふうにも思えます。

そこら辺も少し難しいところでしょうけど、やはり地区の意見を先に先に意見を聞きながらや

っていったほうが進むのではないかなというふうに思いますので、着手をするようになってからやるのではなくて、やはり先に先に地区との協議、地区がどのように考えているのか、そこら辺もいろいろな協議は先にしたほうが私は進むのではないかなというふうに思います。

越高工区につきましては、先ほど答弁がありましたように部長の答弁もありました、あと2年ほどで完成、次に御園工区に移るわけですから、もう先に線形等を決めて協議に入らなければならぬのではないかなというふうに思いますので、そこら辺も早めに取り組んでいただきたいというふうに思います。

それから、越高橋架け替え、先ほど市長のほうから答弁がありました。やはり橋梁長寿命化点検はされていますが、なかなかこのタブレットの写真でも分かるように古い橋であります。私になぜこれを架け替えたほうがいいのかという質問をするかと言いますと、やはりちょっと低いんですね、手前側が御園工区に入るわけですが、ここからアップダウンをしていてかなり川の高さが低いというような状況でもありますし、海岸からの土砂と川からの土砂でぶつかり合って詰まるというような、水の流れが悪くなるというようなところもあります。越高地区からのそういうような大きな冠水とかは聞き及んでおりませんが、そういうところもあっているのではないかなというふうに、この橋を見て分かるように思いますので、そこで私は架け替えの考えはないかということで質問をいたしております。

さて、今、至るところで道路は橋梁ではなくてボックスというのいろいろ進んでおります。そのようなことも勘案しながら、そういうように変更ができるならば、橋ではなくてそのボックスあたりに変えられるなら変えていくというような考えがあったほうがいいのかと思います。市長、もう1回、そこを答弁お願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） また詳しい答弁は担当部長からも答えさせますけども、議員おっしゃられるように確かにこの越高橋の状態は古くはなっておりますけども、先ほども答弁いたしましたように、点検結果ではまだこれを改修するまでには至っていないというようなことで、次の点検で健全度等が3以上になった場合は、もちろん見直していかなければならないと思っておりますし、その際はボックスカルバート等への変更も可能かとは思いますが、ただ、こういった通水断面、要するに川の水、そして海の潮の関係で、これをあまり上げ過ぎると今度は水が思ったようにはけないというような状況となりますので、そこら辺は先ほど申しましたようにスムーズな通水ができるような構造等を熟慮しながら決定していかなければならないのかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） よく分かります。長寿命化点検で結果がこうだから、あだからということ、地区の方も全く御存じないわけで、私たちも本職ではありませんので分かりません。

しかし、目視した場合、ひび、あるいは鉄筋の腐食、そういうの見れば、こら危ないなどいうことは、やっぱり地区のほうからも話あるんです。長寿命化点検をされておって、完全なものですよと言いますが、なかなか理解ができない状況ですので、そこら辺も、一般質問することで、聞いてある方は分ってくるのかなとは思いますが。

今、市長が言われましたように、高さを上げる、下げるでは、河川と海岸の塩水がぶつかり合っているというような話ですが、ここはしょっちゅうぶつかっております。こっから橋からちょっと海岸に行けば、山になっておりますので、そこでも河川からの水は流れております。

私が、今、少し考えたのは、ボックスにすればやっぱり流木が引っかかるとか、そういうのが出てきます。現状を見ながら、その点検の結果を見ながら、小さい橋ですので、できれば早めに架け替えを、検討をしていただきたいと思いますとお願いをしておきます。

それでは、越高工区につきましては、これで終わります。

次は犬ヶ浦トンネル、ちょっと飛びますが、犬ヶ浦トンネルについてお尋ねをいたします。

先ほども申しましたように、このトンネルは47年から48年、供用開始がされております。市の中で、市道で現在、供用されている20本のトンネルの中では、一番古いトンネルだと、私は理解をしております。

私が中学校を卒業した後にできているのかなと思っております。私たちはこのトンネルの上の山道を登って学校に行っていました。1時間30分ぐらいかけて歩いていっているんですが、そういうところで、このトンネルで非常に便利がよくなる、経済もよくなるということで、一時はよかったなと思っておりますが、今では一番古いトンネルになってしまいました。

これをどうするかということもありますが、なかなか前回の質問でもありましたように、費用対効果というの勘案しながらやっていかなければいけないということで、トンネルを新しく掘るということは、非常に大きな予算もかかります。

しかし、今、トンネル長寿命化点検でも分かるように、大きな予算をつけて点検がなされ、安心なトンネルであろうかと思いますが、その中で、やはり一番問題なのは幅員が狭いんです。離合ができない。

御園方面と犬ヶ浦方面の出口、入り口では、少し広いところがありますので、そこで待って、通った後にまた通るといようなところですので、非常に今の時代に合った道路なのかな、トンネルなのかなと、私はいつも通るときに思うんですが、やはりそれはそれとして、大きな予算を使うよりも、整備して、皆さんが安心して通れるトンネルだったらいいかと、今、考えていると

ころですので、トンネルを見てもらったら分かりますが、3枚目のところに両方に、ほとんどトンネルは両方に側溝があります。この片方を外してもら、外してもらえば40センチ広くなります。

となると、乗用車はゆっくり離合ができます。大型車については、出口、入り口の広場で待つて離合ができますから、それで、私は構わないと思います。

しかしながら、側溝を一つ取れば、乗用車はかわるわけですから、その考えはないか、市長にお尋ねをいたします。

構造物でありながら、トンネルと一体化したものなら、外すことはできませんが、恐らくトンネルと一体化じゃなくて、後からつけたものであると、私は思っておりますので、そこら辺が取れるなら、片方だけでも取っていただければ離合ができますので、そこら辺も行政側としての答弁をいただきたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） そのことにつきましては、担当部長のほうから詳しく説明をさせます。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、内山歩君。

○建設部長（内山 歩君） 御質問の中に犬ヶ浦トンネル、側溝部分を撤去して幅員が広くできないかというふうな御質問と考えます。

まず、その側溝、写真で提供、これ側溝になってはいますが、この側溝部分については、トンネルの側壁面の補強という機能も兼ねております。

あと、それに伴って、補強としてから再度、排水機能と、あと路肩という機能の中で、この部分を撤去しますと、通行の際に、このトンネルに関しまして、建築限界といって高さの制限がございまして、それをこの側溝部分を撤去することによって、当然、今の建築限界よりも外の路肩部分に車両が進入するということになると、その建築限界を確保できないという状況になりますので、これは道路構造令上で決められているものですので、当時設計の段階でも、その段差から建築限界を取り、その段差部分には入らないという意味合いでも、この段差を設けたという経緯がございますので、現段階においては、側溝部分を撤去するということは難しいと考えております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） 今の部長の答弁はよく分かりますが、このトンネルは、20本の市道のトンネルの中で一番低いわけですね、高さが。

側溝を外せば左車線に寄ってしまって、側壁に当たるというような今の説明でした。確かにそうだろうと、大型車になればそうだろうと思いますが、私が先ほど言いましたのは、大型車同士

と大型車と普通車は離合できませんから、乗用車だけですから、4メートルは乗用車はありませんので、当たることは、私はないと思いますし、また取り外して、トンネルの横側にいろんな防護柵が、今頃はプラスチックでできます。

本土のトンネルに行けば、そういうふうなあれがつけてありますので、そこら辺をつけたり、そういうようなことをすることが、行政の仕事であろうと、私は思います。

ただただ、47年たってそのままのトンネルで、経済効果はないかもしれませんが、地区住民からは何とかならないやろかというような意見を、ずっと聞いておりますので、ここら辺が構造物と一体とならなければ、片方を外して、そして外した後は、車が当たらないように保護柵をする、防護柵をする、そういうような考え方もあるんです。

ただ取ったら危ないから取りません。それをずっと47年間続けるわけですか。そういうことじゃないんです。やはり取ったら取ったで、いろんな処置が出てくるんです。今は時代が進みます。

だから、一つ取って、そして安全に通行ができるようにしてもらえば、地区の皆さんも安心して通られる、私はそう思いますが、市長はどうですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 確かに、議員さんの気持ちは、よく私も理解できるところではございますけれども、ただこういった構造物上は、やはり道路構造令、これに沿った計画でないと、もし何らかの事故、そしてまた、たまにトラックと乗用車が擦れ違った際に、側溝を取り外した場合は、その横に行くということで、高いトラックの場合ですと、建築限界のところからまだ横に行きますので、側壁、特にトンネルの天井に車が接触をしてくるというようなことで、事故等も発生するおそれがあるというようなことで、担当課のほうとしても、お気持ちはよく理解できますけど、なかなか道路構造令に沿った計画にならないということで、その判断が難しいということにしているものと考えております。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） 行政側の考え方はそうなると思いますが、比田勝トンネルを見られたと思いますが、比田勝トンネルもそういうような状況で、幅員が狭いということで、片方の側溝外しまして、今はトラックが上に当たらない、左側いっぱい行って、トラックの高さが4メートルのところ、当たらないところで壁が設けられております。

だから、そういうようなこともできるんですから、これは確か50センチありますから、幅が。だから10センチの壁をトンネルの横に造れば、4メートルで当たらないところに造れば、10センチか、20センチの壁をつければ、通られるわけです。

だから、そういう考えも持ってやらないと、47年間、このトンネル見たら分かるように、車

のタイヤでこすってからずつと行っています。

だから、そこはもう少し行政側も考えていただいて、取らないほうが一番いいんでしょうけど、取って何とか安全に通行ができるトンネルにしたいなということは、考えてもらいたいと思います。これはどこのトンネルもそうだと思います。

これはひとつ考えていただいて、今後、計画の中に入れて、本来は、私が聞いたときには、御園トンネルの供用開始から45年、50年たったら、ちょっと危険だろうということで、もう一つ掘るといような話も聞いておりましたが、今はそういうような予算をつけてやって、費用対効果もないところにやって、20年も30年もかけて完成をするよりも、今の現道をきれいに整備をして、一日も早いきれいな道路を通るといような地区の考え方でもありますし、そこら辺はやはりきちんとしたものを、行政側も取り組んでもらわなければ、私はいけないと思います。

だから、部長が言いましたように、取らないほうが一番いいんですが、比田勝トンネルを見て分かるように、それは県が施工してありますけど、側溝50センチあるのを取って、高さを見て20センチの、トラックが当たらないところまでに壁をするわけです。側溝じゃなくて壁を、そうしたら、そこから以上は行きませんので、そこにぶつかったら仕方ない。

そういう考えもありますので、よくよく考えられて、その中の整備を検討してください。

これトンネルだけで、越高、伊奈、志多留、中山、佐護まで出るのに車がここ通って、ずっと同じトンネル45年、50年通るわけですから、やはり少しは改革をして、広くなったな、このトンネルで安心だなといようなところが見えるように、努力をしなければいけません。

また、何かあったら私に言うてください。お願いしときます。

それでは、トンネルは終わりました、今度は橋です。御園の中ですから、一角を全部、私質問今日しますので、分かると思いますので、よろしく。

橋は5枚目です。昭和63年にこの橋が御園地区に架けられたということで、非常に御園地区の皆さんは喜んでおられて、今、34年間供用しておられるわけですが、やはり、今、見てみますと、非常に鉄骨の腐食、そしてまた塩害も発生しますので、鉄骨の腐食が激しいわけです。

だから、写真は、6枚目が橋梁点検をされた後に、私が写真を撮りに行ってるんですが、ボルト類がかなり腐食をしているところもあります。健全度が収まる場所は取り替えておられます。それはきちんと分かりますので、取り替えておられます。

しかし、まだまだ同じような結果のところも取り替えてない部分もありますので、その辺を取り替えて、私が言いたいのは塗装整備、この鉄骨を34年間、最初から塗ってないわけですから、このままですから、塗装すれば非常に地区から一望できるわけですから、また架け替えられたな、きれいだなといこと、きちんと見えます。そこら辺も地域の安心・安全を守るためにも、行政の仕事じゃないかなと思います。

見てもらって分かるように、鉄骨で組んで上がコンクリートのスラブですから、鉄骨がずっとむき出しになってるんです。きれいな橋です。町時代に、上県町が建ててあるんですが、すごい橋が建ててありますので、これを整備していつまででも保持できるように取り組んでもらいたい。そのように思いますが、市長どうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 先ほども、答弁いたしましたように、健全度が3となっているというようなことで、今現在は、令和7年度からの次期計画によって、この整備を進めていくという計画になっているようでございます。

その際には、恐らく腐食防止関係の工事が入ろうかと思っておりますので、塗装等もされるものと考えております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） そうですね、その点検の結果を見てやっていくのが行政の仕事ですから、それはそれで仕方ないと思いますが、やはりここは組合もありまして、水産業が盛んなところでもあります。大型トラックも、保冷車も通りますので、下で大型トラックが通れば、音も結構しております。

そういうような状況で、一日も早く、こういうのを、整備をして、地区の皆さん方が安心して通られるように、また環境にも優しいところになりますので、特に、このことについては、一日も早い整備をお願いします。

それから、今度は自然災害防止に移りたいと思いますが、その前に、トンネルのほう写真の4枚目を見てもらえば分かると思いますが、非常に、30年、40年たったトンネルが市の中には何本がありますが、このようにコンクリートの壁の部分のカビですか、カビといいますか、いろいろ草木が巻きついたりしております。非常に見苦しいわけです。入り口、出口ですから、非常に見苦しい、これも長寿命化点検の前にこういうものも清掃されて、やっていくことが、私は望ましいんじゃないかなと思いますし、また地区と連携しながら、トンネルの木が、少し雑木あります。

こういったものも地区と協議しながら、安全に通行できるように伐採をしますよ、こうしますよということを、やはり協議をしながらしていかなければ、協力が求められないんじゃないかなと思います。

いろんなことに対して、行政側も多くの仕事抱えてやってあるわけですから、その意は酌みとりますけど、そういうようなことを少しでも、市民の皆さんに分かりやすいように、こういうことができたよというのが分かりやすいように、そこで私が思い出したのは、吉見議員さんが、元、

吉見議員さんがおられたときに、トンネルの名前が分からないところが多いということで、県のほうも県道ではトンネルの入り口に看板を立てられました。非常に私はそこで、そうだなと、やってみて分かるんです。やってみて、我々は走るときに分かる。

吉見さんはずっと前から、私は分かってました、私はこのことができましたので、もう引退をしますということでした。

我々もそういう思いを持ってやっているわけですから、行政側もその思いを酌んでいただいて、いろんなことに力を入れていただきたい。今まで以上に、今までも取り組んでいただいておりますが、今まで以上に取り組んでいただきたいなと思います。

清掃は、入り口、出口見ても分かるように、やはり40年、50年のトンネルだなというのが分かるんです。ここ通っていいのかな、観光客思います。

だから、この整備をどのようにしてされるか分かりませんが、洗車機で洗えばきれいになることですから、そうそう大きな金がかかることじゃありません。どうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 確かに、写真を見る限り、かなりコケが張りついているというようなことで、見た目はあまりよろしくないと思います。

今後、ここら辺を、例えば高圧水ポンプあたりで、こういった施工ができるものかどうか、今後、検討をさせていただきたいと思います。

もし、その際、そういった施工が可能であれば、計画的な事業として、このトンネルも含めて、ほかの市の管理トンネル等も、また点検を進めてまいりたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） ありがとうございます。やはりまだまだ比田勝のトンネルも、中もカビが生えているような状況で、外も木の枝がトンネルの入り口まで来ている状況であります。

そういうところがいっぱいありますので、県とも協議をしながら、県道についても、市道についても、きれいにおもてなしができることを、やっていただきたいと思います。

トンネルの上部につきましては、やはり山肌がむき出しになっておって、石ころがたまに落ちてきてるときもあります。そういうのも点検をしながら、長寿命化だけじゃなくて、日頃の点検にも力を入れていただきたいなと思います。よろしく願いしておきます。

それでは、次は2項目めに移ります。

自然災害防止対策について、このことについては、非常に猪、鹿の被害を受けて大きな予算が投資されているわけであります。

島内を見ても分るように、非常にのり面工事が進められておりますが、やはり地区によっては

まだまだ進んでない状況のところもあります。

市の事業と県の事業、そこをどういうふうにして見分けていくのか。今、聞き及んでいるところは、市の事業であれば400万以下ののり面工事ができますよと、そういうようなことは聞き及んでおります。それ以上になれば県のほうに伺いを立てて、優先順位を決められてやっていきますので時間がかかりますよと。時間がかかりますよということばかり私は聞くのですが、やはり時間はかかるというふうに思います。この広い対馬の中ですから分かりますが、やはり緊急性を要するところは先に手を打っていただかなければいけないというふうに思います。優先順位だけで決めていって、5年も6年も10年も待つよりも、少しでもいいですから、のり面肌がむき出しになっている部分の、人家の人方の安全を守るため、また安心ができるような施策を講じて、簡易な工事でもいいと思います。完全にしなければならないということはありません。行政としてはここまでしないと、いろいろ問題があったときには責任問題になってくるということはありません。やはり簡易なことでも私はいいと思うのです。そういうふうなところも少しは取り組んでいただきたいというふうに思っております。今、道路を走って見てみますと、櫛志多賀、ずっと佐賀、もう大きなのり面工事が、対策がなされております。きれいになって本当、車で走っても上を見るだけで安心な感じになります。本当にそういうことも県と協議をしながら、一生懸命取り組んでもらえばいいかなというふうに思います。

私が質問しているのは、御園トンネルの越高へ抜けるトンネル、御園トンネルの左、右ののり面でございます。写真でいけば9枚目ですか、ちょうど工事がなされているところはトンネルの上部でございます。少し右側の上を見てもらうと分かるように、これが水道の水源地のタンクであります。この下の部分と、船があるほうの左の部分、ここが非常に土砂の流出が多い。このトンネルの部分については、やはり大きな転石も、2トンぐらいの転石が転がり落ちたということも聞いております。そういうこともすぐに対応ができておりますので問題ないのですが、やはり長期になるか短期でできるか分かりませんが取り組んでいただいて、地域の皆さんが、地区の皆さんが安心して生活ができるように頑張りたいというふうに思っております。市長、そのところはどうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） このことにつきましては、先ほど答弁いたしましたように、こののり面対策については、御園トンネルの左右ののり面対策、そしてまた御園大橋の付近ののり面対策について、今後、県のほうと協議を進めながら事業化に向けて検討してまいると答弁したとおりでございます。また、実際に北部建設事務所の担当のほうでも、そこら辺を県のほうとも実際、協議は先に進めているようでありますので、事業化のほうは可能かというふうに思っております。

○議長（初村 久藏君） 10番、春田新一君。

○議員（10番 春田 新一君） どうもありがとうございます。

この9枚目の写真で、道路災害について少し触れさせていただきます。このガードレールの下にフェンスが張ってあります。これが、転石が落下して民家に落ちてきたということで、この柵をしていただきました。これで少しは安堵されているのですが、やはり雨の後には道路に石が落ちてくるような状況ですので、そこら辺も道路災害として、のり面对策ではなくて、道路災害として早く手をつけていただきたいなど。この路線が、犬ヶ浦から御園区間はこの路線でいって、狭いところを拡幅していくという改良事業で、今、市長の答弁もありましたので、そこら辺を早めに、道路の災害で被害がないようお願いをしておきます。

それから、1分になりましたが、今の市道、あるいは農道、林道のトンネルで供用されていないトンネルが見受けられます。非常に危険だなというふうに思いますので、ここら辺も供用がなされていないところは、その地区と、その地域の皆さんと協議をされながら通行止めをするのか、きちんとした対策を打ってほしいというふうに思いますので、そこら辺、よろしく願いをいたしまして終わります。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、春田新一君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開を11時10分からとします。

午前10時51分休憩

午前11時10分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。6番、伊原徹君。

○議員（6番 伊原 徹君） 皆様、こんにちは。伊原でございます。

今日に至るまで、コロナ禍によって生活様式が大きく変化しました。さらに梅雨に入り、マスク着用は違和感があり、一日も早いマスク脱着の生活が望まれているところです。

さて、本日は5点について質問いたします。

1点目は、本市における苦情処理とその対応について。

2点目、職員の接遇研修について。

3点目、再質問ですが、通学路の安全確保について。

4点目は、2年後に市制20周年を迎えますので、その記念行事の提案。

5点目は、本市における子育て支援の考え方についてであります。よろしく願いいたします。

それでは、1点目の島内外からの苦情や難題等が寄せられていると思いますが、その対応マニュアル策定や専門部署の設置に関する質問です。